

立憲民主党

The Constitutional Democratic Party of Japan

あべともこニュース

消費税増税は格差を拡大、消費落ち込み対策の財源は借金！

◆増税による3・2兆円はどこへ？

安倍政権は消費税10%への増税を今年10月に狙っています。

これは歳出削減なき増税となり、日本の19年度予算案は史上初の百兆円超えとなります。

19年度増税分3・2兆円は10月から実施する「幼児教育無償化」の財源であると共に、病院等での非課税仕入れ額にかかる消費税分を補てんする財源等0・4兆円分です。

「幼児教育無償化」は一見よい政策に見えます。しかし幼稚園や保育園の料金は既に所得が少ないほど面減額が大きいため、無償化の恩恵は高所得層ほど大きく、低所得層には小さくなります。

また、待機児童問題の解決にはなりません。消費税増税で更に格差が広がると批判が起きています



衆議院議員あべともこプロフィール

神奈川12区（藤沢市・寒川町）
 当選7回、東京大学医学部卒業、
 小児科医、あべともこどもクリニック（湘南台）理事長
 現在、厚労委員会・原子力問題調査特別委員会筆頭理事



https://twitter.com/abe_tomoko



<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

あべともこ 検索

◆消費落ち込み対策に国債発行？！

さらに、本末転倒な景気対策も行われます。安倍政権は、消費税10%は「全世代型」社会保障の実現のためと謳います。しかし、同時に増税で消費が落ち込まないよう景気対策に2兆円を投入するとしています。

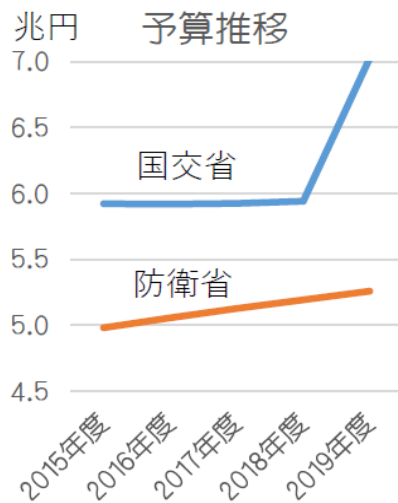
2兆円の6割は、ポイント還元、プレミアム付商品券、住まい給付金、次世代住宅ポイントなど、対策で恩恵を受けるのは特定の人だけです。

残り4割は土木事業のため（防災・減災・国土強靱化の名目で）、7800億円の国債発行で賄うというのです！ その異常な発行増は国交省の予算推移にも表れています（下グラフ）。
 税収等698兆円に国債発行33兆円—これが財政収支の不均衡な百兆円超予算の中身です。

◆何のための増税か

増税の流れは「社会保障と税の一体改革」は民主党政権時代の3党（民自公）合意で14年6月に始まりました。

しかし、自民党が政権に返り咲いてからは、左グラフの通り、社会保障費の他、防衛省と公共事業予算の増加が顕著です。一体誰のための増税なのか、真つ当な予算の用途を求めていきます。



財務省資料を基に阿部事務所作成

あべともこと共に歩む会後援会入会のご案内及びボランティアスタッフ募集中！

特定の企業や団体などに依存しないあべともこの活動は、後援会の年会費やカンパによって支えられています。あべともこの活動にご支援頂ける方は、お気軽に事務所にお問い合わせください。

立憲民主党神奈川県連
 〒231-0012
 横浜市中区相生町 4-69-4F
 TEL 045-228-8591
 FAX 045-228-8592